

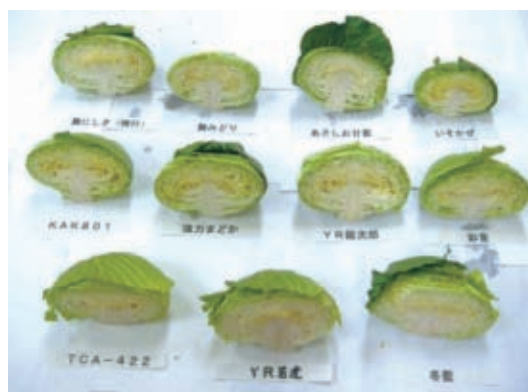
# 茨城町における加工・業務用野菜産地の育成

県央農林事務所 経営・普及部門(水戸地域農業改良普及センター)

茨城町の生産部会では、市場価格の不安定さから、農業経営の安定化を図るため、早くから加工・業務用野菜の生産に取り組んでいます。主要品目は馬鈴薯（143ha）とキャベツ（60ha）で、ホウレンソウ、人参、ダイコン、チンゲンサイ等を組み合わせた作付体系で生産されています。このように品目・作付面積が増加する中、県央農林事務所経営・普及部門では農業経営の効率化及び収穫・出荷作業の軽減を図るため、関係機関（JA）と連携してコントラクター体制の経済性等について調査・検討を行い、加工・業務用需要に対応した野菜産地の育成を支援・指導しています。

## 地域に適したキャベツ生産技術の支援

業務・加工用野菜は、「一定期間に、一定量を供給する」責任があります。そこで、経営・普及部門では、秋冬用キャベツや春キャベツの品種比較試験を行い、各期間に安定的に栽培できる茨城町に適した品種の組み合わせを提案しました。また、内部黒変症状などの生理障害対策実証試験圃を生産部会と共に設置する等して、技術確立を支援しています。



キャベツ品種選定試験ほ調査



業務用キャベツ生産に向けた機械化体系実演会

## 茨城町キャベツ生産部会が設立

実需への対応強化を図るため、関係機関（JA）と連携して、組織化を支援した結果、平成 24 年に茨城町キャベツ生産部会が設立されました。また、先進地研修や機械化体系の現地研修を実施した結果、生産部会では、実需者に対応する鉄コンテナ 450 個を導入し、収穫・運搬作業の効率化を図っています。さらに、予冷施設の導入など実需者ニーズに対応した産地体制整備を進めています。

## 馬鈴薯部会コントラクター体制の構築

JA 水戸茨城町加工馬鈴薯部会では、は種や防除、収穫作業を受託するコントラクターを検討しています。経営・普及部門では、経済性や作業効率を調査・分析し、導入の可能性を検討しています。

今後、コントラクター体制を構築することで、農家の作業負担軽減・適期管理が可能になり、高品質化を図れる産地、契約を遂行できる産地となれるよう体制改善を支援しています。



ポテトハーベスターによる収穫作業